

9月議会の一一般質問の続きです。前回の平良木哲也議員のあと、日本共産党議員団からは上野公悦議員、橋爪法一議員が登壇し、TPP問題、センター病院の消費税過払い、入札・契約制度の改革、市の施設における第三セクター所有の固定資産問題などをとりあげました。その概要をお知らせします。

TPP交渉参加は反対の立場を明確に

センター病院消費税過払い問題で市長が謝罪

【上野公悦議員】センター病院の消費税過払い問題については、市民に経過と結果をきちんと説明する場を設けるとともに、何らかの具体的な責任をとることが望ましい。提訴を含めた新たな手立ては考えているか。

【村山秀幸市長】結果的に1億2390万円の返還がかなわなかったことに対して市政執行代表者としてお詫びしたい。経過等については広報上越で詳細に説明したいと思っている。提訴しないことで終結となる。責任については私自身が考える。

【上野議員】TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）問題の現在の局面をどう認識しているか。TPP交渉参加反対の立場を明確にするべきではないか。

【村山市長】全国市長会でも詳細な情報を開示するよう要請しているが現状では十分な開示がされていない。現段階では賛否を明確にできない。

子ども子育て新システムは保護者に大きな影響。保育園を儲けの対象に株式会社参入も

【上野議員】子ども子育て新システムは、消費税増税と一体的に出されてきた。市町村の保育義務の大幅な後退や株式会社参入を容易にし、保育の市場化を促すもの。多くの自治体や議会、保育現場から反対や危惧の声が上がっている。市長はどう考えるか。

【村山市長】まだ詳細については明らかではない。保育の需要見込量、提供体制などを盛り込んだ事業計画を策定するなど市の責任はこれまで以上に大きくなる。市場化が進み公的保育の後退につながることはないよう一層の子育て支援施策の充実につなげていきたい。

（写真は質問する上野公悦議員）



一位不動産は談合の状況証拠 厳しく対処を！



橋爪議員の一般質問。

橋爪議員は、昨年度の入札の中で複数回に及んだ116件のうち93件が「二位不動」であったことを明らかにして、監視を強め、改善を図るよう求めました。

しかし村山市長は、「入札参加企業が、入札額の積算に当たり、今まで以上にしっかりと取り組んでいる」「（一位不動が多く出たのは）落札した企業の強い受注意欲の表れであり、企業努力によるもの」と答え、再質問でも強気の答弁を繰り返しました。一位不動は、入札が何回行われても、2位以下は動くが最低価格札を入れた業者は変わらないという事態をいいます。全国オンブズマンが「一位不動は談合の状況証拠」とし、国交省などでも問題視し、監視を

強めている中で、今回の市長答弁は理解できませんでした。

第三セクター資産約2億円

第三セクター問題では、市所有施設の一部に第三セクター所有の固定資産があることを示し、早期に買い戻しの措置を取るよう求めました。

市長は、「第三セクター11社の直近の決算書によると、第三セクターが所有する建物附属設備や備品などの有形固定資産の帳簿価額は、総額で約2億円」「過去において、緊急性を要する施設修繕について第三セクターが経費を立て替えて実施したことや、会社独自の判断で購入したことなど様々な理由から、第三セクターが固定資産を実際に所有している状況が生じている」「市としては、各第三セクターが資産を購入した経緯や市との事前協議の有無、また、指定管理業務において真に必要な資産か否か等について確認を行ったうえで、買い戻しや寄附採納など、市として必要な対応を行ってまいりたい」と答えました。この買い戻し等は株式評価までに行うことになる見込みです。第三セクターと丁寧な協議を行っていただきたいものです。

農議連メンバーが大島区菖蒲で今年度の作況確認

市議会の食料農業農村議員連盟は29日、大島区菖蒲の稲作体験圃場を訪れ、今年度の作況を確認してきました。これには橋爪議員も参加しました。

豪雪や今夏の高温等の影響があって、作付してあるコシヒカリの株数は通常の約半分。1反当たり5俵ほどしか収量はなかった。でも味は抜群といひます。



日本共産党上越市議員団ニュース

No. 341 2012年10月7日

連絡先
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)